

# その人の想いに寄り添うキーパーソン講座

～本人の想いをキャッチして最期まで伴歩（ばんぽ）する人～

第3期 基礎編

【講座監修】 樋野興夫

順天堂大学 名誉教授  
一般社団法人「がん哲学外来」 名誉理事長

本講座は、キーパーソン不在の認知症やがん患者さんの「キーパーソン」「支援員」として、本人の希望をキャッチし、最期まで本人を支え、寄り添う心構えを実践的に学ぶ基礎講座です。

本人の想いを実現するために真のキーパーソンとなるための実践的なスキルを学びます。基礎編においては、日々の生活に寄り添う支援員とキーパーソンと一緒に学びます。

## 【講座の特徴】

- 実践的なカリキュラム：テキストは各講師の豊富な事例を活用し、対象者を中心とした関わり方を考えるカリキュラム。医療保険・介護保険の適用範囲に縛られることなく、具体的なケース教材を基に実践的なスキルを磨きます。
- 寄り添う力を磨く：本当に大切なのは、こちらの都合の支援ではなく本人に寄り添うこと。ケアする側の視点からケアをうける側の視点への大きな意識変換を学びます。

## 対象者

- キーパーソンに興味がある
- 自分のキーパーソンを探している
- 医療・福祉の現場で「キーパーソンがいない方」の相談を受けている
- 実際に介護や看取りに関わり「もうちょっと何とかできなかつたらうか」とモヤモヤがある
- 医療従事者
- 福祉・介護サービス従事者
- 介護・看取りの経験者（家族・親族）

## 受講会場

一柳ウェルビーイングライフ  
渋谷区宇田川町11-1 柳光ビル別館3階

※渋谷駅ハチ公改札 徒歩8分



グーグルマップ



## 講座日時

7月4日(土)・5日(日) (2日間集中開催)

## 定員

15名

## 受講料

30,000円

事前のレポート提出にて ⇨ 10,000円

- 申請書類の提出（申込時）
- 受講申込後、7日以内に指定課題提出

課題：以下のテーマからひとつお選びください。

- ①「関わる利用者さんがキーパーソン不在で困った事例」
- ②「家族親族の介護や看取りに関わった際の事例」
- ③「自分がお願ひしたいキーパーソン像」  
(A4ワード1枚程度)

申請書式  
ダウンロード



## 申込方法

一柳ウェルビーイングライフ  
公式ホームページから

<https://iwbl.org/course03/>



## 申込期限

2026年6月20日



一般財団法人  
一柳ウェルビーイングライフ

電話：03-5422-3957 担当：西田  
(お問い合わせ受付：平日10時から16時まで)

【ご挨拶】 財団理念：「最期までその人らしく生ききるを支える」 一柳弘子 一般財団法人 一柳ウエルビーイングライフ代表理事

## 1. 理念の理解と価値観の共有

10:30-12:00

三国浩晃

NPO 法人  
人生まるごと支援理事長

- キーパーソンについて
- キーパーソンの3本柱
  - ① 本人を知る
  - ② 希望・要望をキャッチする
  - ③ 希望を叶える（チームで実現する）

【目的】 活動の中心となる理念を明確にし、自分の軸をつくる。キーパーソンとしての役割、指針、心構えを学ぶ

■■■ 昼 食 ■■■

## 2. 本人を知る対象者理解：高齢者・認知症・がん患者

13:00-15:50

別府明子

心理カウンセラー  
頑張らない介護生活を考える会委員

- 認知症の心理・行動特性  
「高齢者だから」「認知症だから」と先入観を持たず、本人の希望に寄り添う

樋野興夫

順天堂大学 名誉教授  
一般社団法人  
「がん哲学外来」 名誉理事長

- がん患者に寄り添うとは 言葉の処方箋  
余計なお節介と偉大なるお節介 相手が苦痛にならない存在になる

【目的】 実際にキーパーソンに関わる本人（認知症・がん患者）のを知り、行動指針を学ぶ

## 3. 初日の振り返り

16:00-17:00

樋野興夫

- 第一日目の総括

懇親会（希望者のみ）

## 4. キーパーソンになる（初めての経験）

10:30-12:00

西田千鶴美

任意後見受任者

- キーパーソンになった経緯、受任する上での葛藤・覚悟
- キーパーソン（任意後見受任者）としての具体的な役割（看取り・死後事務・遺言執行）

【目的】 初めてキーパーソンになる心情を知る

■■■ 昼 食 ■■■

## 5. キーパーソンの事例（振り返り）

13:00-14:00

三国浩晃

- 関連事例を基に解説・検討する

## 6. 本人の希望をキャッチし叶える（実際のケースをもとに受講生と事例検討）

14:15-17:00

【ファシリテータ】

秋月隼人

NPO 法人  
人生まるごと支援支援員

- ケーススタディの活用 本人の希望をキャッチする（どのような話し方、関係づくりが大切か）
- ケーススタディの活用 本人の希望を叶える（キーパーソンの意思決定・チーム構築）
- ケーススタディの振り返り

【目的】 キーパーソンとして、本人の“意思の根底部分”を理解する

## 7. 全体の振り返り

17:00-17:30

樋野興夫

- 全体の総括

修了証授与

【講座監修】 樋野興夫 順天堂大学 名誉教授  
一般社団法人「がん哲学外来」 名誉理事長

--- 本講座後の予定 ---

実践編 ※2026年11月頃

実践編では、具体的にキーパーソンになる為の指針、心構えや必要書類（任意後見・死後事務・遺言公正証書）の作成、本人の希望を叶えるチーム構築（在宅看取り等）キーパーソンの意思決定等を、事例を交えて学びます。

フォローアップ 実践編終了後、適宜開催予定

現場で活動するキーパーソンの学びの場を提供

- キーパーソンのサポート（ケアする人をケアする体制）
- キーパーソン同士のネットワークの構築・交流の企画・場の提供